

令和 4 年 度 学 校 総 合 評 価

今年度の重点目標に対する総合評価

今年度の「重点項目・重点課題」、各達成目標の評価は以下のとおりである。

	重点項目	重 点 課 題	
1	学習活動	家庭学習習慣の確立と授業力の向上	
		達 成 目 標	評価(昨年度)
		① 家庭学習習慣の確立	B (A)
		② 授業力向上	A (B)
2	学校生活	・ 基本的生活習慣の定着および「自覚と責任」を持たせる生徒指導の充実 ・ 思春期のライフスキルの育成	
		達 成 目 標	評価
		① 登校指導、頭髪、服装指導の充実	B (C)
		② 歯の治療カードの回収率50%以上	C (-)
		③ 教職員対象の(カウンセリング)研修会開催	A (-)
3	進路支援	進路意識の向上と進路実現に向けた進路指導	
		達 成 目 標	評価
		① 進学 進路指導に対する満足度95%以上	A (A)
		② 就職 進路指導に対する満足度95%以上	A (A)
4	特別活動	諸活動を通じ、自ら考え、自ら行動する姿勢の育成	
		達 成 目 標	評価
		① 生徒会行事満足度90%以上	A (B)
		② 一人当たりの貸し出し冊数3.2冊および来館者数4800人	B (B)
5	その他	学校、保護者、社会における相互の協力と情報共有の促進	
		達 成 目 標	評価
		① 行事や活動への満足度 参加者の80%以上	A (A)
		② P T A会報『いくゆう』の閲覧 全会員の80%以上	A (A)

○目標達成度の評価は、設定11項目のうち、A(達成した)が7、B(ほぼ達成した)が3、C(現状維持)が1、D(現状より悪くなった)が0という結果であった。昨年度からAの数が増加し、Cの数が減少した。

○新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少し、体育大会や学園祭などの行事が復活したことにより、生徒間のコミュニケーション能力を育成・向上する機会が増えた。

7 次年度へ向けての課題と方策

○一昨年度から、コロナウイルス感染防止対策に終始し、教育活動を全般的に縮小せざるを得なかったが、一方でICTを活用する機会が増えた。生徒・教職員共にICT関連技能のレベルアップを図り、時代の変化にきちんと対応していかなければならない。

○昨年度スクールポリシーを策定し、新高校の「めざす学校像」を明確化することができたが、各学科・コースの生徒への周知が不十分であった。次年度はあらゆる機会をとらえ、スクールポリシーの「見える化」に取り組みたい。

○今まで以上に、保護者や同窓会、大学、企業、地域社会との連携を強化する。

○生活指導・学習指導、進路指導に関する情報発信を充実させる。具体的にはウェブサイト等のさらなる活用、「各種通信」や、進学・就職説明会(懇談会)の充実等を図る。